

# キラリン☆九大生 meets KUIFA

KYUSHU UNIVERSITY INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION



法学部三年  
長島伸弥

駅前に行かずとも身近に国際交流できるコーヒアワーを行い、留学生のサポートでは右に出るものはいないサークル、KUIFA。今回は代表の長島さんに話を聞いてみた。

「KUIFAに入ったきっかけを教えてください。」

入る前から、留学生と仲良くなりたいとは思ってたんですよ。長崎出身ということもあって、将来平和問題に取り組みたいんです。それで学生のうちから留学生と関わって、民族や宗教についてもっと考えられればいいなと。直接的なきっかけは、留学生のチューターになるうと思っ、行った先で幹旋をしているのがKUIFAだったんです。新歓でも最初から名前前で呼んでくれたりと、すごく気さくで面白い先輩ばかりだったので入ることにしました。

「実際に留学生と接して感じたことは何ですか？」

日本語上手いなどはよく思います。あと、違う価値観からのコメ

ントは常に新鮮ですね。日本人は重い話の時にしか「あのさあ」って使わないよね、と言われた時はなるほどと感心しました。誰とでも敬語を使わずに、フランクな付き合いができるのも魅力です。表情豊かに全身を使って話をするときは、生身の人間の付き合いだなと実感します。

「留学生はどんな悩みを抱えていますか？」

そうですね、まず留学生会館のキャパシティが足りないんです。伊都には新しくドミトリーができましたが、香椎浜の方はもう満杯で、原則半年間しか住めない状態です。他には語学ですね。せっかく日本に来たんだから、日本語を学んで帰りたいという留学生は多いですが、研究室では英語が中心でなかなか使う場がないということもあるようです。コーヒアワーはそんな留学生のために日本語中心でやっています。

「テーマとして『異文化交流』と『国際協力』があるそうですが、具体的にどんな活動をしているんですか？」

「交流」については、九大留学生会との サッカー大会やシンガポールの学生と相互にホームステイしあう交流事業『インターリンク』など様々な催しを企画しています。日常的に中心になるのはコーヒアワーですね。でも本当に重視しているのはイベントの後です。できる限り連絡先を聞いて、一緒に食事をしたり遊んだりして

プライベートでも仲良くなれるようにしています。KUIFAのメンバーとしてではなく、一人の人間として付き合いたいんです。「協力」の方は、これまでも僕らの代でISPという内部組織を作り、教育支援の為にフィリピンにパソコンを寄付したり、CMC(カンボジア地雷撤去キャンペーン)の募金活動や途上国へのワクチン供給を目的としたエコキャップ運動など様々な活動を行ってきました。最近「協力」のためには自分たちの見識をより深める必要があるというので、週に一度、国際活動に従事する人々について書かれた本を基にプレゼンや議論を行い、スキルアップを図っています。

「KUIFAで得られたものは何ですか？」

一番は仲間です。年齢も国籍もキャンパスも違う、多様なバックグラウンドを持った人間と真面目に語ったり、一緒に飲みに行ける関係を築けたということはとても幸運で、一生モノだと思っています。代表として、メンバーをまとめる苦労をした経験も僕の宝です。仕切るのは本当に骨が折れますね(笑)。僕がいろいろやってきたのも、すべては夢の為です。理由もなく戦争で人が死ぬのはどうしてもしゃせんないんですよ。留学生との交流を通じて相互理解を促進し、人権や立憲民主主義の思想を人類で共有して、戦争のない平和な世界にするのが僕の夢です。そのためにはまず身近なところからだと思います。皆さんもぜひ一度コーヒアワーに来てみてください。

## KUIFA(九州大学国際親善会)

約半世紀もの歴史を持つ国際交流サークル。「異文化交流」「国際協力」を柱に、様々な活動を行っている。コーヒアワーはその中でも代表的なもので、お菓子を食べながら留学生と交えて語らう会。毎週木曜十七時半より箱崎留学生センター分室にて、また毎週金曜十七時より伊都ウエスト四号館二階ピロティにて絶賛開催中。参加費百円。

連絡先

shido\_respect@justice@docomo.ne.jp(長島)

紅茶を片手に  
コーヒアワー

